

新渡戸文化アフタースクールスタッフの志

日本一のアフタースクールにしよう！！

（新渡戸稲造先生：教職員心得）

- 一、人の子を預かる以上は「親心」を以って、これに対すること
- 一、授業は「知育」のみに偏らざるよう、「思慮」と「判断力」の養成に努めること

（子どもたちにとってのアフタースクール）

- ・子どもたちが、長所・個性を伸ばす場
- ・子どもたちが、新たな挑戦をする場
- ・子どもたちが、心から安心して過ごす場
- ・子どもたちが、一人ひとり認められる場
- ・子どもたちが、仲間と過ごすことを学ぶ場

（大切な10の考え）

- 1、アフタースクールのスタッフは、子どもたちの成長に寄り添う大切な仕事です
- 2、私たちは、子どもたちのいいところを発見し伸ばすことを大事にします
- 3、私たちは、子どもたちの新たな挑戦を賞賛します
- 4、私たちは、子どもたちがみんなで過ごすように心がけます
- 5、私たちは、保護者を全力で支え、応援します
- 6、私たちは、子どもたちの様子を保護者に積極的に伝えます
- 7、私たちは、先生・保護者・地域とチームを組んで子どもたちを育てます
- 8、私たちは、自らが子どもたちのよい目標となるように振る舞います
- 9、私たちは、自らが学び成長し、それを子どもたちに還元します
- 10、日本全国が目標にするアフタースクールをみんなで作りましょう！

【基本ルール：子どもたちへの対応】

①挨拶

挨拶は子ども、保護者との関係づくりの基本、丁寧な挨拶でお迎え・お見送りを行う

- ・アフタースクールにお迎えする時は「こんにちは」「おはようございます」
- ・アフタースクールからお見送りの時は「さようなら」（バイバイではなく、さようなら）

②子どもの呼び方

子どもにとって最もよい呼び名を決めて、優しく呼びかける

- ・その子の家庭、お友達からの呼び方などを考慮し、子どもの呼び方を決める（なるべく「くん」「ちゃん」「さん」がついた呼び方にする）

③宿題の対応

宿題の時間は、遊びの時間とのメリハリをつけてしっかり集中して行う

- ・正解/不正解の判断はせず、きちんと書いているか、丁寧に取り組んでいるかを見る
→宿題の正解/不正解はご家庭で見てください
- ・宿題のチェックはスタッフが一覧表にてチェック、終わっていない子は連絡帳で知らせる

④プログラムの対応

子どもの個性が伸ばせるよう、環境作り、講師のフォローに十分に配慮する

- ・プログラムに子どもが十分に集中出来るよう、子どもと講師をサポートする
- ・プログラムの開始時に黙想を入れ落ち着いた後、始まりの挨拶をする
- ・プログラムに子どもが参加したくない場合は声かけを行う
どうしても子どもが参加できない場合は連絡帳で保護者に伝える
- ・終了時は、子どもから講師の先生にきちんとお礼の挨拶をする
- ・ノートにより、講師・家庭とのコミュニケーションをはかる（プリントもノートに入れる）

⑤部屋での過ごし方、外遊び

部屋ではなるべく部屋の中らしく過ごし、外では思い切り体を動かす

- ・1対1で遊ぶのは避け、子ども同士なるべく大勢で遊ぶようにスタッフは促す
- ・部屋の中では走らない、ボール投げ・鬼ごっこ等は禁止
- ・外遊びを極力多く取り入れ、子どもたちがのびのびと外で体を動かせるようにする

⑥おやつ

おやつは子どもの大きな楽しみ、衛生面は万全に、食べるのはみんなで楽しく

- ・必ず手を洗ってから食べさせる
（手はハンカチでふく、持っていない場合ハンカチを貸し出す、体操着でふかない）
- ・食べる場所に仕切りを入れ、遊んでいる子と場所を少し離す
- ・楽しく、礼儀正しく食べるよう見守る（食べながら喋らない、立たない、正しい姿勢で）
- ・1人で食べる子がいないよう注意する
- ・食べ終わったら子どもには自分の食べた場所をふくようにする
- ・食べない子には食べるよう促す
- ・おかわりはおやつの時間内のみで、おやつ終了後はおかわりしない
- ・おやつが終わったら早めに片付け、出しっぱなしにしない
- ・できるだけプログラム前に食べさせるが、間に合わない子は個別対応
- ・食べ残しは子ども同士でやりとりなどしない
- ・アレルギーのチェックはカフェテリアとスタッフで徹底する
- ・おやつ配膳時、片付けの時はアルコール消毒をすること

⑦着替え

着替えは子どもたちで手早くきちんと出来るように促す

- ・着替えは基本的に子どもだけで行わせる、服のたたみ方、かけ方などはコツを教える
- ・1年生の着替えは状況によってはサポートする、原則として女性スタッフが行う
- ・高学年の子（特に女子）で配慮が必要な場合、更衣室で着替えを行う

【基本ルール：スタッフの行動】

①心構え

スタッフは子どもの成長に寄り添う大切な立場、常に健康管理および人間性の向上を心がける

- ・日頃の健康管理に気をつけ、少しでも病気の気配がある場合は出勤しない
- ・出勤予定が変わる際は出来るだけ早くかつ確実に連絡をする
- ・時間厳守、遅刻はイエローカード、無断欠勤はレッドカード
- ・子どもたち全体を見渡すように心掛ける
- ・一人ひとりの子どもの心に寄り添った優しい対応を心がける
- ・放課後は長所を伸ばす時間、子どもたちのいいところを探し、積極的にその場で褒める
- ・子どもの成長のため出来るようになってほしいことは、しっかりと最後まで伝える
- ・自身の成長が子どもに還元できるよう、常に勉強する姿勢を持つ

②安全・衛生管理

スタッフは子どもの安全管理者であることを認識し、有事の際は子どもの安全確保を最優先する

- ・コアスタッフは「上級救命講習」を義務づける
- ・年に2回以上の訓練に必ず参加する（火災、震災）
- ・常にスタッフは安全管理責任者としての認識を持つ（プログラム中はスタッフが1名）
- ・子どもを連れて部屋から出るときは必ず他のスタッフに告げる
- ・ケガの場合、応急処置および保健室への搬送等の対応をとり、状況を必ずコアスタッフに報告
→コアスタッフは責任者に報告し、保護者への連絡を行い、スタッフノートにも記載する
（翌日ノートで小学校の先生にも報告）
（治療のための通院時つきそいは原則不可）
- ・医療機関へ搬送の場合、必ず保護者に連絡し、許可をいただく（緊急時は臨機応変に対応）
- ・掃除・洗濯・ごみ捨ては毎日行う

③保護者、学校への報告

保護者、学校とのチームワークで子どもたちを見守る、連携の秘訣となる報告をしっかりと行う

- ・子どもの様子を保護者・学校へ伝える、怪我など健康面のことは漏れなくご連絡する
- ・子どもの様子は、自分だけで把握せずなるべく多くの人に共有する

④身だしなみ

子どもに接する仕事であることを認識し、清潔感のある服装、身だしなみを心がける

＜共通＞

- ・髪の色のかつい変色は不可
- ・アクセサリはつけない（結婚指輪は可）、爪は短く清潔に
- ・香水はつけない、制汗剤等は匂いのきつくないものに
- ・カラーコンタクトは不可
- ・校内では室内履きを履く（緊急時の避難誘導を考慮）

＜男性＞

- ・髭は必ず剃る
- ・短パン（7部丈含む）、穴あきジーンズ、腰ばきは全て不可、素足不可

＜女性＞

- ・過剰な露出等を避け、節度ある服装、ネイル不可

⑤学校周辺での行動

スタッフは学校周辺でも子どもたちの目に触れることに配慮し、節度ある行動を心がける

＜来校、下校時＞

- ・交通規則、喫煙など、ルールを守った行動を行う
- ・校内に入る際は、コート等を玄関で脱ぐ、音楽イヤホンも外す
- ・新渡戸文化小学校の子で気になる点がある場合、きちんと名乗って声をかける

＜休憩時＞

- ・学校周辺で飲食する場合の立ち居振る舞いに配慮する

⑥電話対応

社会人としての丁寧な電話対応を心がける、また連絡連携ミスがないように注意する

＜外線＞

- ・「新渡戸文化アフタースクール、〇〇です」

＜内線＞

- ・「アフタースクール、〇〇です」

＜対応＞

- ・お電話いただいた内容は、スタッフノートに記録を残す
- ・なるべく短時間で担当者につなぎ、かつ何の用件かしっかり伝える

⑦携帯電話、ゲーム

子どもへの影響、個人情報保護に配慮し、個人の携帯電話は勤務中に使用しない

- ・勤務中に子どもの前で携帯を出さない
- ・音はマナーモードに、携帯での電話には出ない、メールも見ない
- ・見送り時の携帯での業務連絡は可、緊急の私用電話の場合、事務所内で行う
- ・校内の連絡は内線を利用、緊急時に携帯の方が早い場合は躊躇なく使用する
- ・携帯での写真撮影も厳禁、カメラはアフタースクール所有のカメラを使用する

⑧個人情報

子どもの個人情報の漏洩に厳重に注意する

- ・子どもの名前、住所、電話番号、写真等の印刷された紙は、利用後必ずシュレッダーする
- ・個人情報の資料を絶対に勤務場所以外に持ち出さない（自宅での業務は行わない）
- ・子どもの情報を個人のPCやソーシャルメディアに絶対に取り込まない、発信しない
- ・電車、飲食店等外部での会話に注意する

⑨スタッフコミュニケーション

スタッフ間のコミュニケーションを確実に、チームとして総合力を発揮する

- ・出勤したら必ず「スタッフノート」に目を通す
- ・勤務開始時にミーティングを行い、当日の注意事項を確認する
- ・連絡事項が流れるメールには、必ず目を通して確認し返信する
(子どもの個人の様子などの情報はメールでは流しません)
- ・見送り随伴終了後、必ず見送り完了の報告をする

(保護者の皆様へ)

「新渡戸文化アフタースクールスタッフの志」は、アフタースクールのスタッフ内で話し合いを行い、「こうありたいね」という思いを形にしたものです。
スタッフは今後、この志の通りになるよう一同努力いたしますが、必ずしもそうならないこともあるかもしれません。
保護者の皆様にはぜひ、私たちを見守っていただき、スタッフがこの志の通りに出来ている時には励ましのお言葉を、そうでない時にはご注意のお言葉をおかけください。
私たちが目指す「日本一のアフタースクール」に近づき、子どもたちが素晴らしい体験が出来るよう、ご一緒に力を合わせていければと思っております。
スタッフ一同ますます頑張ります、どうぞよろしくお願い致します。

(新渡戸文化アフタースクールスタッフ一同)